

学校教育目標

生き生きと人とつながりながら自分を高める児童の育成

共通目標（スローガン）愛いっぱい学校へ～やればできる～

めざす子ども像

元気でたくましい子

自分と相手を大切にする子

よく学び、考える子

学校課題

- 自己効力感・自己有用感を育む人権・同和教育の推進
- 深い児童理解に支えられた生徒指導の推進
- 保護者・地域から信頼される開かれた学校づくり

- 基礎・基本の確実な定着
- 幼小中地域連携教育の推進

基本方針：人権尊重の視点に立った、笑顔あふれる学校づくり

重点

学習指導

- 授業改善・開発・日常の教師の発問・板書の構造化
- 言葉を大切にする児童の育成・話す言葉の育成・聴く力の育成
- 基礎基本の定着・専科指導・個別指導の充実
- 宮っ子がんばりプリント開発・活用
- 家庭学習の啓発と指導

学級経営

- 学級開き 自己有用感・自己効力感の高揚のある学級づくり
- 学級活動 居心地感が高まり活躍の場が保障される学級活動
- ソーシャルスキルトレーニングの活用と充実
- 教師の使う言葉

生徒指導

- 基本的な生活習慣の育成
- 確かな児童理解
- いじめ認知とチームで対応
- 家庭とのつながり(家庭訪問・電話連絡・連絡帳)
- 絆月間の充実
- スマイルあいさつ運動

特別活動

- 委員会活動・クラブ活動等の児童の自治的・自律的な活動の工夫
- 異学年活動 なかよしタイム等の充実と活躍の場の工夫
- ボランティア活動の推進

人権教育 特別支援教育

- 人権・同和教育
- 部落問題学習の開発
- 保幼小中地域連携
- 特別支援学級・通級指導教室の授業・支援開発と連携強化
- 特別支援学級交流先での支援の在り方の研究

現職教育

- 学力部会
- きずな部会
- 人権・同和教育
- 特別支援教育

めざす教職員像

家庭・PTA・地域との連携

- コミュニティ・センター、田村文化センターとの連携・協力
- スマイルあいさつ運動
- シビック・プライド育成(出前授業)
- マイランチの日
- 学校運営協議会

保幼小中連携教育の推進

- 連携内容の協議・実施・評価と改善・拡充
- 授業交流の拡充
- 合同研修

愛いっぱいの教職員チーム 学年主任、学級担任、専科担当、通級指導担当、学力進路支援担当、養護教諭、栄養教諭、学校事務、学校図書館指導員、英語指導補助員、ALT、学校生活支援員、用務員、調理員、SSS、SC、SSW、クラブ指導者、CS委員、教頭、校長

- やさしさと厳しさをもち、子どもとともに成長する教職員
 - 情と熱をもって、子どもに寄り添いながら支援する教職員
 - 子どものよさを伸ばし、子どもとともに夢を語り合う教職員
 - 自らの研修に努め、子ども・保護者・地域に信頼される教職員
 - 職種・職階を超えた同僚性を大切にチームをめざす教職員
- <教員業務の質的転換> 児童と向き合う時間の確保、業務の質的向上、指導の持続性確保等を図る。重点期と持続期を戦略的に意識した業務への取組。メンター・コーチング・システムの活性化。

めざす教職員像を支える3つの要件:本質における一致、行動における自律と自由、全ての面での信頼
OVMC:全教職員が「愛いっぱいの学校へ～やればできる～」を共通目標(ワン・ビジョン(OneVision))としてめざし、共通目標に向かって行動することを使命(ミッション(Mission))とすることで、教職員が一致した共同体(コミュニティ(Community))として成長していく。